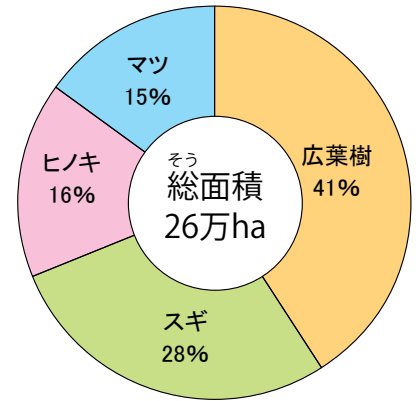


3

とっとりけん りんぎょう 鳥取県の林業

1 森林の働きと林業

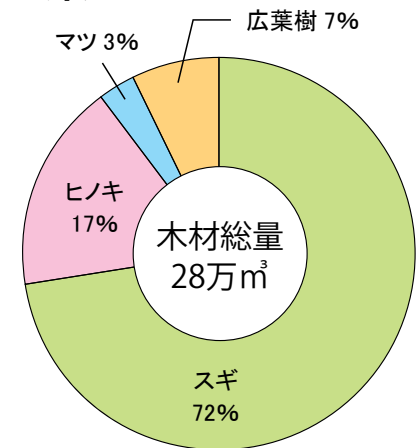
鳥取県には県の面積の74%にあたる約26万ヘクタールの森林があります。この森林を利用して古くから林業が行われています。



鳥取県の森林面積
[2016年 / 鳥取県農林水産部]

林業はさい生産できるしげんを利用する産業

森林は、石油や鉄などどちがい、木を切った後にふたたび苗木を植えていくと、木材をいつまでも生産できます。また、森林を利用して、きのこや山菜、薬草をさいばいできます。こういった森林の働きをうまく利用している産業が林業です。



鳥取県で生産された木材量
[2016年 / 鳥取県農林水産部]

くらしの中の木

山から切り出された木材は、私たちのくらしの中でたくさん使われています。スギやヒノキやマツは木の家を建てる材料に使われます。また、木材は、くだいたり、つぶしたりして、わたしたちが毎日使う本やノート、ティッシュペーパーなどくらしに欠かせない紙になります。ほかにも、木材は、まきや、バーベキューに使う炭にもなります。



柱、かべ、ゆか、家具などに
たくさんの木材が使われている

くらしを支える森林からのおくり物

林業では、森林で育てた木、きのこ、山菜などやそれらの加工品などをはん売して、生活に必要なお金を得ています。また、鳥取市や境港市には木をもやして発電する発電所があり、約5万戸の家庭で使用する電気を作っています。



日新バイオマス発電所（境港市）



くらしを守る森林

森林は、わたしたちの生活に必要な水をたくわえ、こう水をふせいでくれます。また、風や砂をふせいでくれたり、地球温暖化の原いんの一つである二酸化炭素を光合成によってとりこみ、酸素を作ってくれたりしています。

2 林業のさかんなところ

① 鳥取県の林業の特色

八頭郡では、江戸時代からスギが植えられており、皇居にも使われるような良質のスギ材が生産されています。日野郡でも多くの木が育っています。大山を中心とした地域ではマツ材を生産してきましたが、松くい虫のひ害により、生産量が減ってきています。



木の伐採（智頭町）



アカマツの林（大山町）



かんばつされた人工林（日南町）

②クローズアップ!『木を生産する』

(1) 木を育てる

苗木を植えてから、下草がり、かんばつ、枝打ちなどの手入れをすることによって健全な森林になり、木が利用できるようになります。



苗木を植える



下草がり



かんばつ・枝打ち



よく手入れされたスギ林



県内では、人の手によって植えられたたくさんのスギやヒノキなどがどんどん育っています。しかし、木材のねだんが下がったため、手入れがされない森林も増えています。その中で林業をがんばっている人もいます。また、森林の手入れを手伝う人も出てきました。



ボランティアによる植林

林業家の声

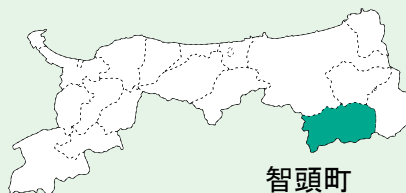


林業でがんばる

あかほりむねのり ちづ
赤堀宗範さん (智頭町)

山仕事は楽しいです。

次世代にほこりを持って渡せる山や木を作るためにがんばっています。



智頭町



(2) 道をつくり，木を切り，運び出す

森林の手入れや山から木を運び出すための道づくりが進められています。

道づくりによって，木を切ったり運んだりする機械が山に入るようになりました。その結果，つらい山の作業が安全で楽にできるようになり，多くの若者が森の中で働くようになりました。




林の中につくられる道



機械で木を集めて運び出す



車で運び出される木材

林業機械をあやつる若者 

おおした ゆうげんがいしゃ
大下林業有限会社

たけお とっとり
大下武夫さん（鳥取市）



にちなん林業アカデミー

す さとみ にちなん
須山里美さん（日南町）



(3) 木を売り買いし、加工する

鳥取県には3カ所の木材市場があり、山から運ばれた木が売られています。

市場で買われた木材は、製材所で板や柱などに加工されます。また、境港市や日南町の工場では丸太をうすくむいてせつちやくざいではり合わせ、合板や大きな梁や柱などに加工しています。さらに、南部町の工場では、小さな板をはり合わせて、厚くて大きな板に加工しています。



木材市場（智頭町）



製材所（若桜町）

住宅に使われる板や柱、土台などを作っています。



合板工場（境港市）

床や屋根の下地などに使われる合板を作っています。



南部町の工場で加工された板材住宅の床や壁などに使われます。

(4) 木を使う

県内には、約340軒の工務店があり、多くの大工さんが活やくしています。

鳥取の気候や風土で育った木を使って、家を建てる運動も広がっています。



木で家を建てている様子（八頭町）

③クローズアップ!『森林を生かしたシイタケづくり』

広葉樹こうようじゆのクヌギやコナラの木を切り，その丸太にシイタケきんを植え，さいばいします。丸太から生えたシイタケは農薬のうやくを使うことがなく，体にも良い健康食品けんこうです。

鳥取県とっとりけんには有名な「鳥取茸王たけおう」と「カンナマ」があります。「鳥取茸王」は，みが厚く大型あつのシイタケで，高級なシイタケとして売られています。「カンナマ」は，湯につけると早くもどり，シイタケ特有とくのにおいも少なく，学校給食にも使われています。



コナラの丸太にはえたシイタケ



シイタケ「鳥取茸王」

シイタケ生産者の声

- 広葉樹林を守り育てるために，自然の中で育つシイタケづくりを始めました。たくさんとれるとうれしいです。
- シイタケをふくめて，バランスの良い食事をとり，健康な体をつくってほしいです。
- シイタケづくりをやってきましたが，とにかく大量に生産しないと，収入を上げることができません。



おおいえしげひろ
大家繁博さん
もちがせ
(鳥取市用瀬町)



まつばらのり お
松原則夫さん
とうはくぐん み さ さ
(東伯郡三朝町)



うえたに はじめ
上谷 春さん
ひ の
(日野郡日野町)